

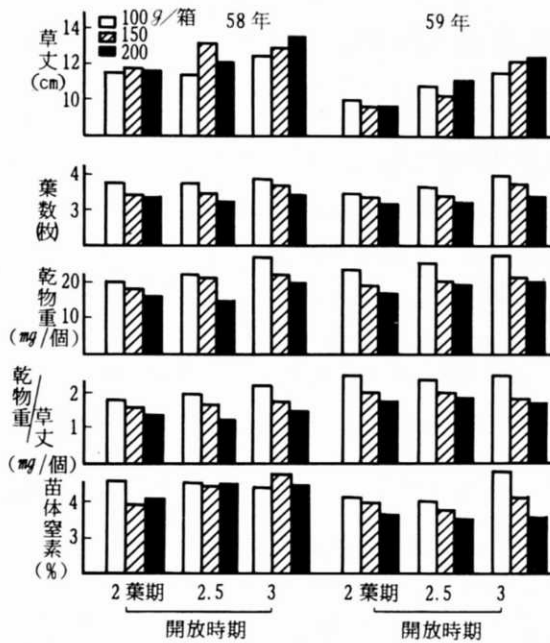


図1 畑式ビニールトンネルの開放時期と苗生育

ほどまざる傾向を示したが、2葉期開放の100g播きでは草丈は小さいが、乾物重、窒素濃度の低下が少なく、充実度は3葉期開放並の苗であることが認められた。

(4) 苗の発根力

開放時期と苗の発根力の関係について図2に示した。剪根した苗を植付け10日(58年)～11日(59年)後に抜取調査したが、根数は開放時期の遅い苗ほど多い傾向がみられ

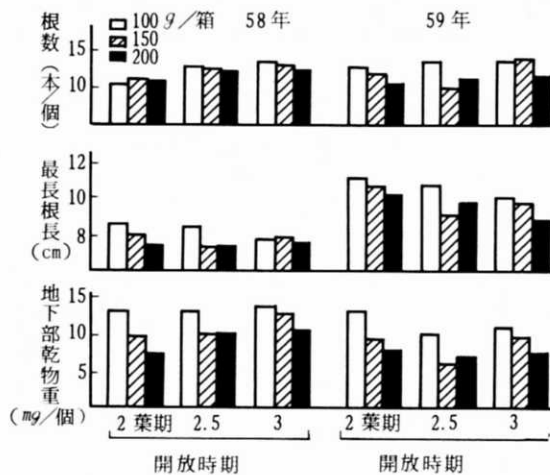


図2 畑式ビニールトンネルの開放時期と苗の発根状況

た。最長根長、地下部乾物重は各開放時期とも100g播きがまさり、最長根長では開放時期が遅いほど短くなる傾向を示した。2葉期開放100g播きの地下乾物重は3葉期開放並かまることが認められた。

(5) 本田の初期生育

開放時期の異なる苗と本田初期生育との関係について図3に示した。茎数の推移からみると移植後15日では各開放時期ともうす播き苗がまさり、100g播きでは2葉期開放の分けつが多く、植付本数に対し約2倍の増加が認められた。この傾向は移植後26日でもほぼ同様であった。

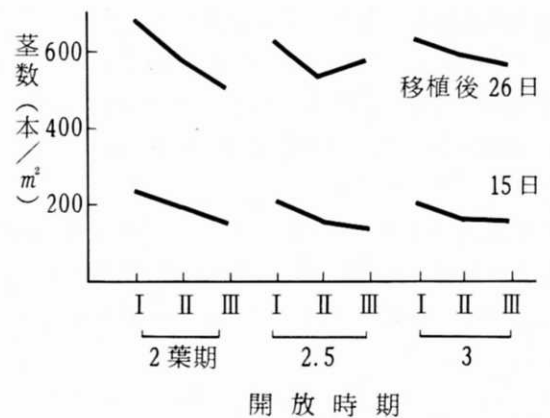


図3 本田の初期茎数の推移(昭59)

注. 播種量(g/箱) I: 100, II: 150, III: 200

4 ま と め

畑式ビニールトンネルによる被覆ビニールの2葉期開放の苗生育は草丈は小さかったが、しかし2葉期開放の100g播きでは乾物重、窒素濃度の低下が少なく、発根程度も3葉期開放と大差がなかった。しかも本田の生育では初期から茎数の増加が多かったこと等から、播種量を考慮すれば2葉期開放の適応性が高いものと考えられる。

引 用 文 献

- 1) 秋田県農政部. 1985. 昭和60年度稲作指導指針. p. 198.
- 2) 竹本敏晴. 1983. 伸びゆく湛水直播とその問題点. 技術と普及 20(2): 79-84.